

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 学校法人静岡理工科大学星陵中学校・高等学校 (正式名称を記載)
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他 (例: 小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒418-0035
静岡県富士宮市星山1002-46

E-mail yusuke@starhill.ed.jp

Website http://www.starhill.ed.jp

幼児児童生徒数 男子 709 名 女子 788 名 合計 1497 名
幼児・児童・生徒の年齢 12 歳～ 18 歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

本校は、知育・徳育・体育・美育を4つの柱とする6年制中・高一貫教育をとおり、知識技能の習得だけではなく、それらを「活用」した思考力や判断力、表現力の育成を重視した「21世紀型スキル」を伸ばす教育に取り組んでいます。「自ら思考し、行動する力」を大切に、勉学、部活や課外活動も、自発的に考え、取り組んでいくことが、不確かな未来を切り拓いていく力になり、ひいては真の人格者を形作るのだと我々は考えます。

具体的には、校内のユネスコ委員会による環境整備・美化に係わる活動、富士山清掃に係わる活動、バイオメタンの普及・啓発に係わる活動を行いました。

① ユネスコ委員会による環境整備・美化に係わる活動

本校ではユネスコス委員会を生徒会の中に作り、多くの生徒に係る委員会としてしています。毎年ユネスコ委員会では校舎の一面にグリーンカーテンを作成し地球温暖化等の環境問題対策に取り組んでいます。環境問題に関しての探究学習を同時に行うことで様々な知識を得る機会となりました。また植物を育てることで命の大切さを改めて体感することが出来ました。

② 富士山清掃に係わる教育

ユネスコ委員を中心として高校1年生約200人で富士山の麓へ行き、清掃活動を行いました。世界遺産に登録された富士山ですが、そこには多く不法投棄されたゴミが数多くあり、遠くから見る美しい富士山からは想像が出来ない現状があります。実際に清掃活動に参加した多くの生徒たちは、この現状に驚き、熱心に活動に参加していました。この活動は開始当初はほんの数名で始まった活動ですが、今では200程度の生徒で参加しています。今後も継続し、発展させていきたいと考えています。

③ バイオメタンの普及・啓発に係わる活動

バイオメタンシステムでは、生ゴミなどの有機性廃棄物から可燃性ガス（再生可能エネルギー）と液体肥料を生成することができます。これまでに、校内にバイオメタンを生成する施設の設置、出張講義や室内実験と発表会を実施することで、生徒への環境教育を展開しました。また、生成したバイオメタンを聖火として燃焼するための活動、液体肥料で作物栽培を実施することで、生徒の課題研究活動を促進しました。これらのSDGsの達成に向けた取り組みをとおして、生徒への教育・研究活動、他の機関との交流を深めることができました。



(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input checked="" type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input checked="" type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 休日を活用)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

SDGs と環境教育－地球資源制約の視座と持続可能な開発目標のための学び－（学文社） アクティブ・ラーニングによるキャリア教育入門（東洋館出版社）
--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

各教科において地球規模の問題を取り上げています。また、総合的学習の調べ学習をとおして、課題発見や考察など発表する機会を設け、グローバル・イシューに対する知識や取り組みを行っています。来年度から7時間目に探究学習やボランティア活動の研修日を設けたり、海外研修において現地での清掃活動、環境保護への活動をしたりなど、ユネスコスクールとしての取り組みを拡充していきます。

子供達には 21 世紀型のスキルを身につけるアクティブラーニングの実践が必要不可欠であると考えています。アクティブラーニングをとおして、物事への興味・関心を高め、その問題点や課題を発見し、その解決に向けた仮説と検証を行い、得られた結果から考察をして自らの考えを発信する能力を育てることを目指しています。中高一貫教育を活かし、調べ学習、出張講義、現地見学・実習、課題研究へと段階的に活動の幅を広げられるような計画を実施しています。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

生徒会の委員会に「ユネスコ委員会」を設置し、学校全体で活動を行っています。また最初はユネスコ委員会のみで行っていた「富士山清掃」活動やユネスコ委員会で交流が始まったアメリカの学校と学校を上げて交流するなど、今では学年を上げた活動に現在では広まっており、ユネスコの波及活動が学校全体に影響を与えています。今後も波及活動に積極的に取り組んでいきたいと考えています。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

「富士山清掃」については、一部で始まった活動が学年全体の取り組みに発展しています。「富士山清掃」は地元の方と協働で清掃するのですが、地元地域の方々との活動を本校 HP にアップすることで、本校の取り組みや「ふじのくに」富士宮の環境保護を発信しています。また、新聞各社にこの活動を取り上げていただいていることも外部評価と考えています。さらに、本校独自のバイオメタン活動が低炭素杯2018年、金賞・環境大臣賞に選ばれました。本校のユネスコ活動を認めていただけたことと考えています。ユネスコ認定校として、今後も地球規模の諸問題解決に向けた取り組みを続けていきます。

⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

バイオメタン教育・研究活動として、環境教育、食育、エネルギーなどのSDGsの達成に向けた活動を展開しました。これまでに、地域の産業フェアや環境フェアなどでの展示、小学生への環境教育、研究会などでの他の団体との発表交流などを行いました。さらに、ふじのくにエコチャレンジ 準グランプリ、山崎自然科学教育振興会山崎賞、低炭素杯 2018 環境大臣賞金賞(ジュニア・キッズ部門)を受賞しました。

また6月に開催される文化祭では、ユネスコブースを作成し、本校が実施しているユネスコスクールとしての活動を紹介しております。またホームページやスマートフォンによる本校のアプリを活用し様々な情報を発信しております。

⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)(200字程度)

※チェック事項 2-3 に対応

バイオメタンの普及・啓発活動として、地域の小学生を対象にした環境教育と食育を実施しました。資源を大切にしようと思った児童は88%であり、小学生の環境意識の向上に対して効果があったと考えられました。また、課題研究の発表会をとおして、他のSDGsの達成を目指した活動を展開する学校との発表交流により、生徒のさらなる活動意欲の向上が得られました。

⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)

※チェック事項 2-4 に対応

本校はアメリカのカリフォルニアにあるマッキンビル・ハイスクールと学校間交流を行っております。この学校を知ったきっかけはユネスコスクールのネットワークであり、短期語学研修や日頃の情報交換など様々な交流を実施していきます。今後も積極的な交流を続けていきたいと考えています。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項2-5に対応

さまざまな活動を生徒主体で行うことで、小学生でも理解がしやすくなり、地域住民も興味を持ちやすくなりなどの効果がありました。作業を生徒主体で行うことで、生徒同士が話し合いをし、作業を分担し、計画を立てて実行してくれました。実際の授業での活動とは違い、これらの活動には明確な答えがありません。しかし、このような課題でも解決策を考え、実行して、振り返るという一連の作業の中に生徒の新たな可能性を芽生えさせるきっかけがあると思いました。

(3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

今後も校内のユネスコ委員会による環境整備・美化に係わる活動、富士山清掃に係わる活動、バイオメタンの教育・研究活動は継続していきたいと思えます。今後はこれらの活動を地域内で展開し、学びの場をさらに広くすることで次世代の人材育成に挑戦したいと思えます。特に、地場産業や地域での資源循環、地域の振興や中高生が考える持続可能な都市の提案などにも挑戦したいと思えます。中高生が主体的に地域で学び、地域の未来を考える活動をさらに展開することで、地域に根差した本校にしかできない教育を検討したいと思えます。